



# SHOWA

技術とモノづくりで豊かな未来を

第96期 報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

 昭和鉄工株式会社

Showa Manufacturing Co.,Ltd.

証券コード：5953



## 「本業回帰で筋肉質な企業体 「事業の選択と集中」、「差別化

### Q 第96期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の各種経済政策等により雇用・所得環境が改善し、また民間設備投資が持ち直すなど緩やかな回復基調が続いてきました。一方で海外経済の不確実性や金融資本市場の変動など、引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」の3年目の年として、平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。

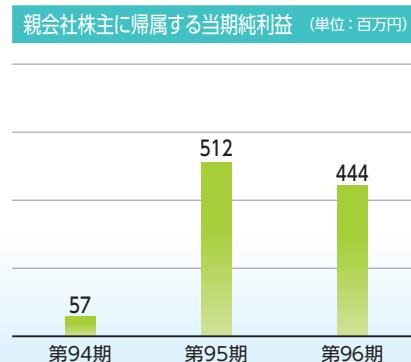
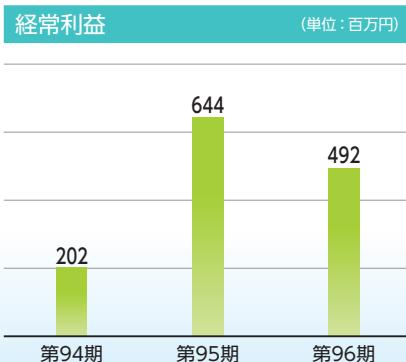
また、中期経営計画達成のため、効果的な事業戦略を

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成30年3月31日をもちまして、第96期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

平成30年6月

代表取締役社長 福田俊仁



# 質を実現する！」をさらに追求し、重点課題である 新製品の開発」、「固定費の最小化」に取り組んでまいります。

検討する「Project Skyel」のもと、4つのタスクフォースを中心に改革を継続推進しております。

親会社株主に帰属する当期純利益は4億4千4百万円（前連結会計年度比13.4%減）となりました。

## Q 第96期の業績についてお聞かせください。

当連結会計年度の当社グループの売上高は124億6千4百万円（前連結会計年度比3.2%減）、受注高につきましては126億6千1百万円（同比1.0%減）となりました。

損益面では、前年度の特需により大幅に増収となった売上高の反動減が影響し、経常利益は4億9千2百万円（前連結会計年度比23.6%減）となりました。

また、特別利益に固定資産売却益1億8千7百万円、特別損失に減損損失2億8百万円を計上した結果、



総資産・純資産 (単位：百万円)



自己資本比率 (単位：%)



1株当たり純資産 (単位：円)



(注) 当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり純資産については過年度に遡及して修正した数値を記載しております。

Q 事業セグメント別の業績をお聞かせください。

■ 機器装置事業

機器装置事業につきましては、熱源機器はボイラー、ヒーター、浴槽用循環ろ過給湯システムが堅調に推移しましたが、業務用エコキュートが低調に推移し、売上が減少しました。空調機器はファンコイルユニットが低調に推移しましたが、直暖機器、ヒートポンプ式外気処理機が堅調に推移し、売上が増加しました。環境機器は電気ヒーター、空気清浄機が低調に推移し、売上が減少しました。また、サーモデバイス機器は熱処理炉が前年度の特需により大幅に増収となった反動減が影響し、売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は78億5千2百万円(前連結会計年度比8.9%減)、受注高は81億7千4百万円(同比2.0%減)となりました。

■ 素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳造品は精密鋳造品が堅調に推移しましたが、特殊鋳造品が低調に推移し、売上が減少しました。景観製品は標準高欄、高欄転売が順調に推移し、売上が増加しました。

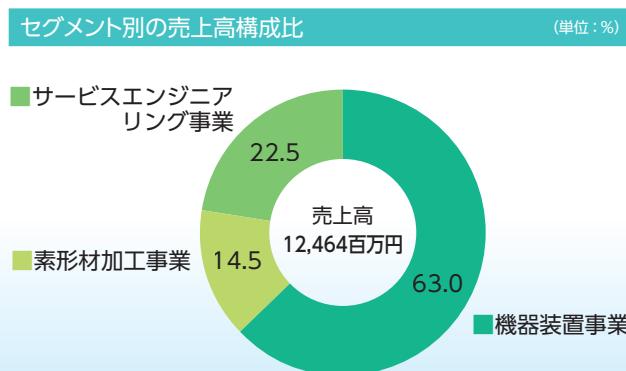
その結果、当事業の売上高は18億1千2百万円(前連結会計年度比7.6%増)、受注高は18億3千万円(同比5.7%増)となりました。

■ サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、有料サービス及び保守契約が順調に推移し、売上が増加しました。

その結果、当事業の売上高は27億9千9百万円(前連結会計年度比8.9%増)、受注高は26億5千5百万円(同比2.0%減)となりました。

セグメント別の売上高・受注高		(単位:百万円)
	売上高	受注高
■ 機器装置事業	7,852	8,174
■ 素形材加工事業	1,812	1,830
■ サービスエンジニアリング事業	2,799	2,655
合計	12,464	12,661



### Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は雇用・所得環境の改善等による緩やかな回復基調が継続していくと想定される一方で、世界情勢の急激な変化やそれに伴う経済情勢及び為替相場の動向により景気が下振れするリスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

### Q 今年度の取り組みをお聞かせください。

平成30年度は、平成31年度を最終年度とする中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」をさらに追求し、2年以内に連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上の必達を目指し、引き続き重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいります。

なお、上記の重点課題の解決と目標達成のため、「Project Skye」のもと、営業・サービスの顧客接点力強化の「営業・サービス改革」、ヒートポンプ製品の開発と事業化の「HP製品開発改革」、昭和生産システムの再構築の「生産改革」、エアハンドリングユニットとファンコイルユニットの生産省力化の「AHU/FCUの省力化」の4つのタスクフォースにより一層注力してまいります。

### Q 株主還元のお考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えうるための経営効率化、新製品開発に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第96期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、1株につき普通配当50円に特別配当30円を加えた80円とさせていただきます。

### Q 最後に株主様にメッセージをお願いします。

内部統制システムやコンプライアンス体制を一層強化するとともに、これからも『誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする』の社是のもと、全力をつくして業績の向上と安定した収益基盤の確立に邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

徹底的な内部構造のブラッシュアップによってMAX効率95%を達成した真空式温水ヒーター「エルゴン」。新開発メタルニットバーナーによって低Nox化・低騒音化も実現し、新搭載の多機能コントローラーで安全性・利便性も向上しました。ボイラーの昭和鉄工がお届けする“最新”が「エルゴン」です。

省スペース設計!  
設置面積  
20~30% 減  
(当社従来型比較)



エルゴン誕生。

高性能フルカバード温水ヒーター

全てが進化。

高効率  
94~95%

低 Nox  
30ppm  
※O<sub>2</sub>=0%換算 以下

低騒音  
65dB (A)  
※煙突騒音 以下

新開発

メタルニット  
バーナー

多機能  
コントローラー

真空式温水ヒーター「エルゴン」

今秋  
発売予定

Vacuum Type  
**Elgon**  
Hot-Water Generator

## 空調・熱源製品

### 某百貨店 リニューアル工事

- 潜熱回収ヒーター「リコス」

近年、再開発案件においては省エネ志向が強いため、高効率温水ヒーターのリコスを提案し採用されました。



### 某製薬会社 本社ビル 新築工事

- リタンエアデシカント外気処理機「ラデック」

製薬会社の本社ビルということもあり、社員の職場環境(夏期の過冷却、冬期の乾燥)を改善する省エネ製品としてラデックが採用されました。



### 共同学校給食センター 新築工事

岐阜県揖斐郡池田町・大野町

- 立形ルーフトップ外気処理機「ケアフレッシュ」

- 業務用エコキュート

給湯にエコキュート、空調にケアフレッシュと、オール電化の施設に理想的な納入実績となりました。



## 連結貸借対照表

科目	当期 平成30年3月31日現在	前期 平成29年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>9,039</b>	<b>8,794</b>
現金及び預金	3,184	3,496
受取手形及び売掛金	3,645	3,622
電子記録債権	363	228
有価証券	200	—
たな卸資産	1,487	1,410
繰延税金資産	100	—
その他	62	41
貸倒引当金	△3	△4
<b>固定資産</b>	<b>6,317</b>	<b>6,072</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,471</b>	<b>2,715</b>
建物及び構築物	728	646
機械装置及び運搬具	208	342
土地	1,411	1,611
その他	123	114
<b>無形固定資産</b>	<b>71</b>	<b>60</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,774</b>	<b>3,296</b>
投資有価証券	3,238	2,826
その他	700	497
貸倒引当金	△164	△26
<b>① 資産合計</b>	<b>15,357</b>	<b>14,867</b>

### ① 総資産

前期末に比べ4億8千9百万円増加し、153億5千7百万円となりました。主な要因は、電子記録債権1億3千4百万円、有価証券2億円、投資有価証券4億1千2百万円が増加した一方で、現金及び預金3億1千1百万円が減少したものです。

### ② 負債

前期末に比べ4億6千1百万円減少し、105億6千5百万円となりました。主な要因は、短期借入金2億5百万円が増加した一方で、支払手形及び買掛金9千3百万円、長期借入金4億8千万円、退職給付に係る負債8千万円が減少したものです。

### ③ 純資産

前期末に比べ9億5千1百万円増加し、47億9千2百万円となりました。主な要因は、利益剰余金3億7千9百万円、その他有価証券評価差額金4億3千3百万円が増加したものです。

科目	当期 平成30年3月31日現在	前期 平成29年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>7,478</b>	<b>7,494</b>
支払手形及び買掛金	2,597	2,691
短期借入金	3,725	3,520
未払費用	483	488
未払法人税等	105	121
設備関係支払手形	7	24
その他	558	648
<b>固定負債</b>	<b>3,087</b>	<b>3,532</b>
長期借入金	325	805
退職給付に係る負債	2,059	2,139
繰延税金負債	332	212
その他	369	374
<b>② 負債合計</b>	<b>10,565</b>	<b>11,027</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>4,126</b>	<b>3,747</b>
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	1,407	1,028
自己株式	△148	△147
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>665</b>	<b>93</b>
その他有価証券評価差額金	1,009	575
為替換算調整勘定	86	74
退職給付に係る調整累計額	△429	△556
<b>③ 純資産合計</b>	<b>4,792</b>	<b>3,840</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>15,357</b>	<b>14,867</b>

## 連結損益計算書

科目	当期	前期
	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
<b>4</b> 売上高	12,464	12,872
売上原価	9,490	9,803
売上総利益	2,973	3,068
販売費及び一般管理費	2,525	2,482
<b>5</b> 営業利益	447	585
営業外収益	177	145
営業外費用	132	87
<b>5</b> 経常利益	492	644
特別利益	187	—
特別損失	208	—
税金等調整前当期純利益	471	644
法人税、住民税及び事業税	160	131
法人税等調整額	△133	—
当期純利益	444	512
<b>5</b> 親会社株主に帰属する当期純利益	444	512

### 4 売上高

平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題に取り組むとともに、効果的な事業戦略を検討する「Project Skye」のもと、4つのタスクフォースを中心に改革を継続推進しています。その結果、当期における当社グループの売上高は124億6千4百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

### 5 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

前年度の特需により大幅に増収となった売上高の反動減が影響し、営業利益は4億4千7百万円(前年同期比23.6%減)、経常利益は4億9千2百万円(前年同期比23.6%減)となりました。また、特別利益に固定資産売却益1億8千7百万円、特別損失に減損損失2億8百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は4億4千4百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

### 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は4千8百万円(前年同期は6億2千5百万円の獲得)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益4億7千1百万円及び減価償却費1億8千8百万円による増加と、売上債権の増加額1億5千7百万円、法人税等の支払額1億5千7百万円及び仕入債務の減少額9千3百万円による減少です。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	前期
	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
<b>6</b> 営業活動によるキャッシュ・フロー	48	625
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50	341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△360	△1,005
現金及び現金同等物の増減額	△362	△38
現金及び現金同等物の期首残高	3,413	3,452
現金及び現金同等物の期末残高	3,050	3,413

## 会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
創業	明治16年10月2日
設立	昭和8年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	318名(連結373名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負

## 主な事業所

東京支社	東京都大田区蒲田五丁目44番5号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(石狩市)
営業所	札幌(石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、大阪、広島、下関、九州(福岡県糟屋郡)、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	昭和ネオス株式会社、昭和トータルサービス株式会社、大連氷山空調設備有限公司

(注)本社は、平成29年11月1日付で福岡市東区から福岡県糟屋郡に移転いたしました。

## 役員

(平成30年6月27日現在)

### 取締役・監査役

代表取締役	福田 俊仁
取締役	鍋山 敏郎
取締役	倉岡 淳
取締役	日野 宏昭
取締役	村瀬 廣記
取締役	松尾 利浩
監査役(常勤)	山根 讓治
監査役	吉田 泰彦
監査役	村上 英之

### 執行役員

社長CEO	福田 俊仁
常務執行役員	鍋山 敏郎
常務執行役員	倉岡 淳
上級執行役員	日野 宏昭
上級執行役員	鈴木 善廣
上級執行役員	井上 敏
執行役員	平田 清

## 株式の状況

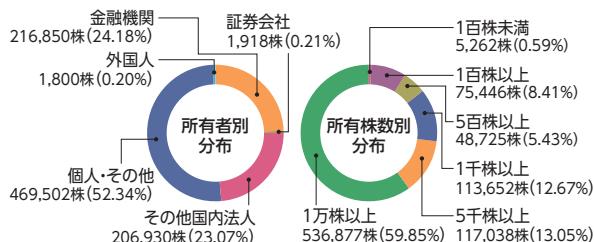
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	897,000株
株主数	868名

## 大株主

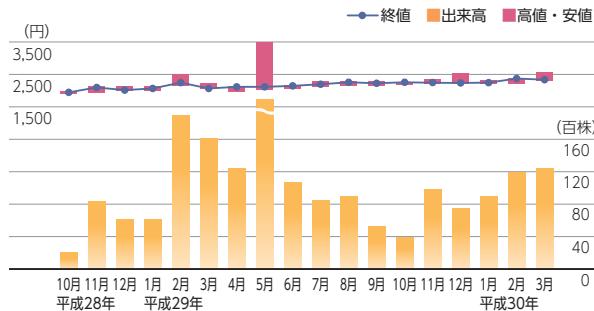
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	38,650	4.74
株式会社西日本シティ銀行	38,500	4.72
株式会社北九州銀行	35,750	4.39
西部瓦斯株式会社	34,500	4.23
西日本鉄道株式会社	29,100	3.57
飯田卓子	27,111	3.32
飯田久泰	26,700	3.27
飯田吉宣	19,850	2.43
福田好美	19,813	2.43
日本乾溜工業株式会社	19,700	2.41

(注)持株比率は、自己株式(82,659株)を控除して計算しております。

## 株式分布状況



## 株価の推移



(注)平成29年10月1日付で株式併合(普通株式10株につき1株の割合)及び単元株式数の変更(1,000株から100株)を行っております。株価及び出来高については、株式併合の影響を加味し、遡及して修正した数値を記載しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 <a href="http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html">http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株

## 株主様へのご案内

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## ホームページのご案内

<http://www.showa.co.jp/>

●トップ画面



当社ホームページでは、IR情報をはじめ豊富なインフォメーションを掲載しています。どうぞご利用ください。

●IR情報トップ画面



 昭和鉄工株式会社

〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8  
TEL 092-933-6390 (代表)

UD  
FONT



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。  
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。